



フェナックス[®] フロアブル

除草剤

芝用



根の生育を健全に保つ。
高い除草効果のある
光要求型の土壌処理剤





フェナックス[®] フロアブル

除草剤

芝用

1

日本芝の根系・ランナーに安全

- 日本芝の根系に対する影響が少ない
- 芝の根の生育を健全に保つことが可能
- ストレスを受けた芝を健全に回復させる

2

ユニークな作用性

- 光を介して作用する。雑草のクロロフィル合成経路を阻害

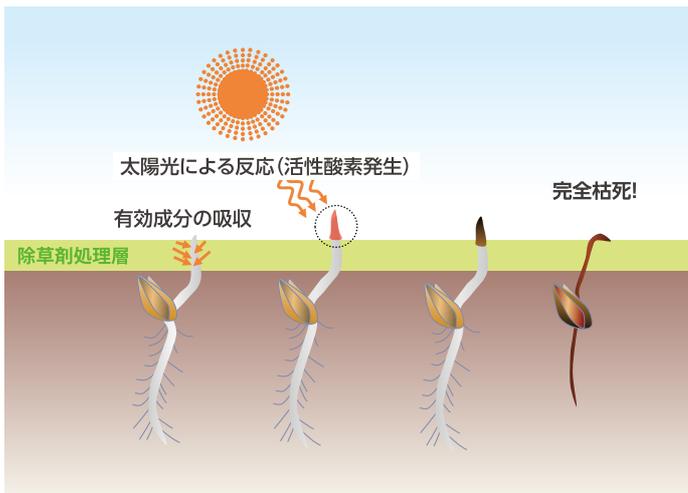
3

安定した 土壌処理効果

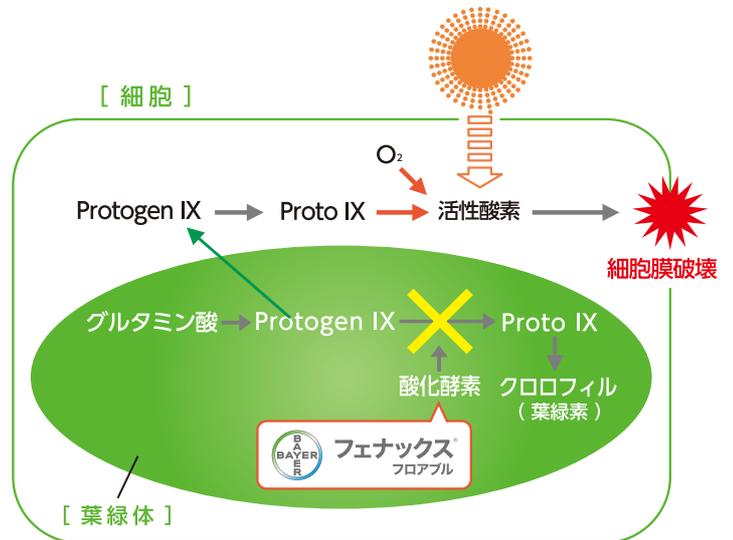
- 水溶解度が低く(0.37ppm)、土壌中で移動性が少なく、安定した土壌処理層を形成
- 推奨薬量0.15ml/m²で、90日以上の上の残効

フェナックスフロアブルの効果発現

■ 土壌処理の場合



フェナックスフロアブルの作用性 (PPO阻害剤)



- クロロフィル合成経路を阻害
- 光の存在下で、活性酸素を発生させ、細胞膜の過酸化損傷を引き起こす (→細胞枯死)

フェナックスフロアブルの上手な使い方

■ 前年の秋に長期残効型の土壌処理剤を使った場合



- フェナックスフロアブルは、日本芝の萌芽前、萌芽初期～中期位までの使用がおすすめです。
- 広葉雑草の多い場所にはデスティニー WDGとの組み合わせがおすすめです。
- スズメノカタビラの多い場所にはトリビュートOD、アージラン液剤との組み合わせがおすすめです。

⚠ 5月以降の使用は日本芝に対して黄化などの薬害の恐れがありますので、使用しないでください。

高い除草効果を示し、日本芝の根の発育に低影響。

殺草スペクトラム

雑草名	メヒシバ	アキメヒシバ	エノコログサ	イヌビエ	スズメノカタビラ	オランダミミナグサ	ハコベ	オオイヌノフグリ	オオアレチノギク	ヒメムカシヨモギ	ハキダメキク
薬量 (ml/m ²)	●	●	●	●	●	×	×	●	●	◎	●
0.1~0.2	●	●	●	●	●	×	×	●	●	◎	●

※散布時期と環境条件によって、残効等は変動します。

日植調委託試験及び社内試験から抜粋

● (残草量なし) ◎ (残草量1~5%) × (残草量51%以上)

フェナックスフロアブルの除草効果

■ 春の結果

製品名	フェナックスフロアブル	フェナックスフロアブル + アーザラン	A剤 + アーザラン
薬量 (ml)	0.15	0.15 + 0.5	0.15 + 0.5
メヒシバ	●	●	◎
ヤハズソウ	×	●	×
アキメヒシバ	●	●	×
コニシキソウ	●	●	◎

試験場所：結城市試験圃場、コウライシバ

薬剤処理：2011年4月7日 調査：2011年8月4日

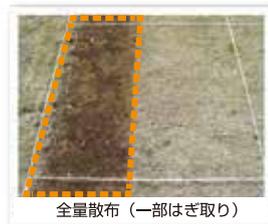
● (残草量なし) ◎ (残草量1~5%) × (残草量51%以上)

① 日本芝の根系に対する影響試験

■ 達観調査

*重複散布を想定した薬量で試験しました

製品名 薬量 (ml)	フェナックスフロアブル			A 剤			B 剤		
	①0.25*	②0.25*	③0.15	①0.3	②0.3	③0.15	①0.2	②0.2	③0.2
2010年 10月12日									
2011年 8月30日									
掘取り調査 2011年 8月30日									
	フェナックスフロアブル			A 剤			B 剤		



試験場所：関東Aゴルフ場

試験方法：定期的な達観調査および最終調査日の掘り取り調査 (生育の良い場所から採取 2連制)

試験開始：2010年4月6日

調査：2011年8月30日

散布日：①2010年4月6日
②2010年10月12日
③2011年4月12日

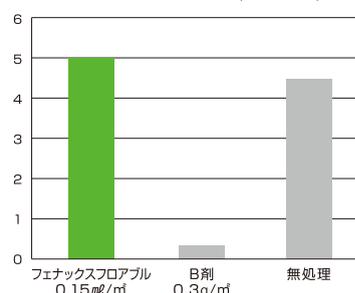
フェナックスフロアブルは、日本芝の新根発生に影響は認められませんでした。

② 日本芝根系に対する影響試験 (ポット試験)

試験場所	結城市試験圃場、屋外
試験区	プランター (土性条件:砂)
反復	2連制
試験薬剤	フェナックスフロアブル(0.15ml/m ²)、B剤
散布水量	200ml/m ²
対象作物	コウライシバ
処理	2013年5月8日(芝張直前に、土壌面に薬剤散布)
移植(芝張)	2013年5月8日
調査(抜取)	2013年10月4日(処理149日後) [根部および地上部(ランナー+直立茎)の乾燥重を計測]

149日後(土性:砂)

根重(g/87cm²)
処理:5月8日、調査:10月4日(149日後)





適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		使用方法	本剤および オキサジアルギルを 含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量		
日本芝	一年生雑草	雑草発生前 (芝生育期)	100~200ml /10a	200~300ℓ /10a	全面土壌散布	2回以内

有効成分と性状

種類	オキサジアルギル水和剤
有効成分および含有量	オキサジアルギル……………35.4%
性状	淡褐色水性和粘稠懸濁液体
荷姿	500ml×6本

人畜・魚介類に対する安全性(製剤)

人畜毒性	急性経口	ラット(♀)	LD ₅₀ > 2,000 mg/kg
	急性経皮	ラット(♂♀)	LD ₅₀ > 2,000 mg/kg
	皮膚刺激性	ウサギ	刺激性なし
	眼刺激性	ウサギ	刺激性なし
	皮膚感作性	モルモット	感作性なし
水産動物に対する影響	コイ		LC ₅₀ 399 mg/ℓ (96hr)
	オオミジンコ		EC ₅₀ 151 mg/ℓ (48hr)
	藻類		ErC ₅₀ 0.0118 mg/ℓ (0-72hr)

安全使用上の注意事項

- 誤飲に注意して下さい。誤って飲み込んだ場合は吐き出させ、直ちに医師の指示を受けさせて下さい。
- 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払って下さい。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用して下さい。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきって下さい。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないで下さい。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。
- 散布時は、農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖作業衣などを着用して下さい。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをして、洗眼して下さい。
- かぶれやすい人は取り扱いに十分注意して下さい。

貯蔵上の注意事項

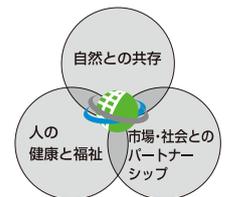
- 保管…密栓し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼な所に保管して下さい。

使用上の注意事項

- 使用の際は容器をよく振って均一な状態にしてから所定量を取り出して下さい。
- 一年生雑草の発生前に有効なので、時期を失しないように均一に散布して下さい。
- ナデシコ科(ツメクサ・ミミナグサなど)には効果が劣りますので、それらが優占する圃場では使用を避けて下さい。
- 寒冷地型芝には被害が生じますので使用しないで下さい。
- 日本芝の生育期には黄化や生育抑制などの影響が生じる場合がありますが、1~2週間程度で回復します。
- 使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。



バイエルクロップサイエンスでは、将来の世代のニーズを損なうことなく
現代のニーズを満たす、「持続可能な発展」のため、Protecting Tomorrow ... Todayをモットーに
① 人の健康と福祉 ② 自然との共存 ③ 市場・社会とのパートナーシップ
を柱として様々な活動を実施しています。



- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載内容以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。



Bayer

バイエル クロップサイエンス株式会社
エンバイロサイエンス事業本部

〒100-8262 東京都千代田区丸の内1-6-5
【お客様相談室】0120-575-078

詳しくはこちらへ

www.es.bayer.jp

検索

お問い合わせ先